

元気企業
訪問

和歌山運送
株式会社

全国の中小運送業者と 連携の輪広げる ネットワーク化と信頼で 大手と対抗

ネットワーク化で苦境を乗り越える

1978年に創業した同社。創業当初は神戸港がコンテナ取扱量で世界の上位に立ち、物流業界が最も活気づいていたころでした。「当時は食品のほかに輸入雑貨を主に扱っており、実績を積みながら紹介をいただくことで、どんどんと仕事を増やしていくことができました」と振り返ります。

しかし90年代に入るとバブル経済が崩壊し、さらに追い討ちを掛けるように阪神・淡路大震災が起き、致命的な打撃を被ります。「物流網が寸断し荷物が運べなかったという短期的な影響だけでなく、輸入貨物が神戸港から他港へ流れ、それから戻ってくることはありませんでした」。特に東日本方面に運ぶ仕事は激減したそうです。

堀秀夫社長は同業の経営者と業界の将来を見据える中で一つの布石を打っていました。中小業者のネットワーク化です。「1社で、ある行き先まで運ぶとトラックの半分しか荷物が積めない場合があります。同業者と連絡を取り合って同じ方面の荷物を一つのトラックにまとめられれば輸送費が抑えられ、ひいては荷主により安い価格を提供できるようになると考えたのです」。神戸の同業者10社で立ち上げたネッ

トワークはその後、関西、全国に広がり、現在では1,600社を束ねるまでにになりました。

ネットワークを広げる中で常に意識したのは、他の業社の荷物を扱っているというモラルの徹底。「一つの事故で、長年培ってきた信頼は失われる」ということを念頭に置いていたと言います。

制度利用で代替導入がスムーズに

2t、4t、10t車をはじめ30台のトラックを保有する同社ですが、1台1,000万円はするトラックの設備投資の判断は常に大きな経営課題です。「バブルの時に大きな話が舞い込んで車両を増やした結果、経営に苦しんだ同業者を見ているだけに、売り上げや利益を考えながら導入のタイミングをどう計るかを見極めています」

中でも2006年以降は自動車NOx・PM法

の改定により、環境対応車への代替導入が迫られました。その際、ひょうご産業活性化センターの設備貸与制度を知ったそうです。「当時は業績も厳しく、銀行からの借り入れ枠も制限がありました。設備貸与制度のおかげで導入することができました。料率が低かったことも大いに助かりました」と堀社長。さらに、「銀行の借り入れ枠があったとしても運転資金を残しておきたい場合は、制度を利用しています」と続けます。

毎年数台のペースで代替導入を進め、これまでに制度を活用して10台のトラックを購入しました。昨年も引き続き制度の利用申請をした結果、これま



自社倉庫で荷物の保管や出入庫、梱包作業なども行っています

での返済の姿勢が評価され、認められたそうです。「われわれ中小零細の業者にとってそのような判断をいただけることはとてもありがたいです」

自社倉庫を持ちサービス向上へ

8年前には自社倉庫を持ち、荷物の保管・入出庫はもとより梱包や開梱、仕分け、コンテナへの積み込み作

業なども手掛け、サービスの向上に努めています。今後も厳しい事業環境が続く中、「信頼を胸に取引先を増やしていきたいです」と話しています。

会社概要
和歌山運送株式会社

所在地 神戸市東灘区深江浜町104
代表取締役 堀秀夫
事業内容 運送業

TEL 078-436-0141
URL <http://w-trans.co.jp/>

支援メニュー講座

設備貸与制度

設備貸与制度の活用で経営基盤を強化

制度概要

設備等の増強・更新を図ろうとする中小企業の方に代わってセンターが設備等を購入し、中小企業の方に長期かつ固定金利で割賦販売またはリースするものです。

メリット

最大のメリットは、金融機関の借り入れ枠や信用保証協会の保証枠とは別枠で利用できることです。また、設備貸与制度のみならず当センターは、曜日ごとに中小企業診断士等の専門家による無料の窓口相談を随時受け付けています。さらに当センターは中小企業支援機関との連携により県内企業を支援する「中小企業支援ネットひょうご」を活用し、経営・技術・情報などさまざまなサポート体制が構築されていますので、制度利用後のフォローアップを含めた手厚いサポートがあるのも特長です。

設備の更新、新規導入、省エネへの取り組みをご検討されている方はぜひ設備貸与制度の利用をご検討ください。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター設備投資支援室 TEL078-230-8801

言葉を伝える
私に伝えた
誰かのように

あなたの本を
書いて
みませんか？

小説、自伝、詩集などあなたがお書きになった原稿をご予算に応じた自費出版プランでご提案いたします。また、各企業の記念誌等の企画・プロデュースもいたしております。どうぞお気軽にご相談ください。

株式会社 神戸新聞総合印刷
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7

印刷物の企画プロデュースから編集・印刷まで、ニーズに合わせてトータルに手がけます。
☎078-362-7180
<http://www.kobenp-printing.co.jp/>
企画・デザイン・編集・制作・新聞印刷・商業印刷
出版印刷・新聞広告・雑誌広告・SP・イベント・IT事業

ISO14001
当社の印刷センターはISO14001の
認証を取得しています。
新聞印刷及び各種商業印刷

MS JAB CM001
JSAE1248